

Solamente-Z

SZ Link スtringチェッカー **SZ-200**

自動測定で点検効率さらに向上!

太陽光パネル故障を
String単位で特定

ソラメンテ-Z
Stringチェッカー **SZ-200**

天候の影響をほとんど
受けないインピーダンス
測定法でパネル点検が
すばやくできる、O&M
従事者の必携ツール
「ソラメンテ-Z」

SZ-200の特長

- 故障検出力を向上
- 自動測定で効率向上
- 測定箇所番号が入力できる
- 記録容量が大幅アップ
- 見やすい大画面表示
- Z/iS連携キット(SR-200)に対応

報告書の
自動作成が可能



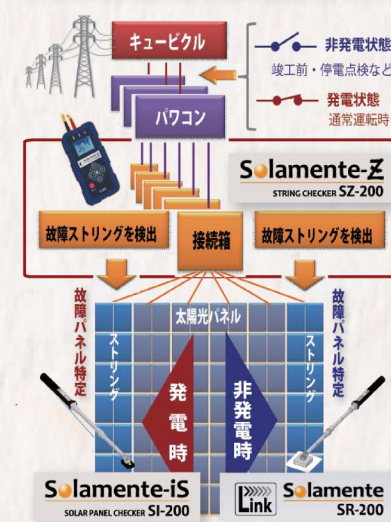
ソラメンテ-Z
測定データと連携 OK

ソラメンテ-Z SZ-200

¥450,000- (税込 ¥495,000-)

自動測定で点検効率が大幅向上

太陽光パネル故障をString単位で特定



Stringチェッカー ソラメンテ-Z SZ-200は、接続箱の各String P/N端子をプローブであたり、故障パネルのあるStringを検出する点検装置です。特殊な検出信号をString回路に印加し、開放電圧と直列抵抗(インピーダンス)を測定、異常のあるStringを判別します。

全パネルのチェックは不要

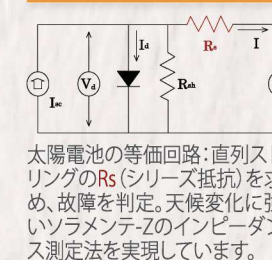
ステップ1 (SZ-200)で全Stringが正常であるかを点検し、異常Stringを検出、その位置と測定データを記録します。ステップ2 (SI-200)では該当Stringのみをチェックし、故障パネルを特定します。

速い・強い・使いやすい

SZ-200は、高速点検、日照変化に強い、高い操作性で、確実に結果を出す点検を実現し、点検作業の効率を飛躍的に向上させています。



測定原理



SZ-200の特長

● 故障検出力を向上

パネルの故障をより正確に判断。アイテス独自の信号解析技術をさらに向上させることで、配線長やパネル配置による影響をできる限り抑えました。

● 自動測定で効率向上

プローブをコンタクトすると測定を自動開始。プローブを両手で扱うことができ、より効率よく安全に測定ができるようになりました。PN端子が離れている接続箱でも一人で測定できます。

● 測定箇所が入力できる

サイト、接続箱やStringの番号を任意の値に設定できます。測定ごとにString番号が繰り上がる自動ナンバリング機能を搭載。

● 記録容量が大幅アップ

記録容量が旧型の3倍の3000件に。SDHCメモリーカードに書き出せばさらに点検ができ、記録件数は無制限。大規模発電所にも対応します。

● 見やすい大画面表示

液晶表示画面を旧型(SZ-100)の約2倍に拡大。視認性を高め、表示情報量も多くなりました。

● 機能拡張オプション(別売)

◆送電前・送電停止時のパネル点検
別売オプションZ/iS連携キット (SR-200)を使うことで、連系前や停電点検などでのパネル点検が可能です。



Z/iS 連携キット **SR-200**

信号送信用にソラメンテ-Z (SZ-200) が必要です。



ソラメンテ-iS (SI-200) の
センサー部を連携センサー
[SR-200] に交換



リンクマークについて:
Link技術に対応したオプションを接続することで機能の拡張を行えます。Link技術を搭載したソラメンテのモデルには、Linkマークが表示されています。

点検の様子をご紹介します

Stringチェッカー
SZ-200

Youtubeで動画公開中 ▶▶▶



・仕様や外観などは製品改良のため予告なく変更することがあります。
・「ソラメンテ」は株式会社アイテスの登録商標です。
・ソラメンテ-Zは、特許登録済です。